

学校推薦型選抜（公募制）

■法学部

対象学科 ／ 政治学科

「学力検査等の内容」

第1次選考	書類選考
最終選考	筆記試験／英語（60分）・論述（60分）、面接

「合否判定の方法及び基準」

第1次選考	調査書、推薦書、外部の英語資格・検定試験の成績証明書、志望理由書、活動報告書により総合的に判断し合否判定を行います。
最終選考	筆記試験と面接により、総合的に判断し合否判定を行います。 <u>筆記試験（英語）</u> 与えられた英文資料について、その内容を正確に把握する読解力と、関連する問いに對して的確に日本語で発信することができる論理的思考能力と表現能力を評価し、本学科での学修に対する適性を判断します。 <u>筆記試験（論述）</u> 与えられた課題や資料の内容を正確に把握し、社会の諸現象に関して多面的・批判的に分析できる能力に加え、日本語で的確に発信することができる論理的思考能力と表現能力を評価し、本学科での学修に対する適性を判断します。資料については、日本語の評論、グラフ、データ、図表などが含まれます。 <u>面接</u> 学修意欲、社会の諸問題に対する関心の高さ、質問に対する理解力、基礎的な表現力等を評価し、本学科での学修に対する適性を判断します。

■経済学部

対象学科 ／ 経済学科・経営学科

「学力検査等の内容」

第1次選考	書類選考
最終選考	筆記試験／小論文（90分）、面接（1人あたり10分～15分程度）

「合否判定の方法及び基準」

第1次選考	調査書、推薦書、外部の英語資格・検定試験の成績証明書、志望理由書、活動報告書により総合的に判断し合否判定を行います。
最終選考	筆記試験と面接により、総合的に判断し合否判定を行います。 <u>筆記試験</u> 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取ったうえで、考えをまとめ、的確に発信することができる論理的思考能力と表現能力を評価し、本学部での勉学への適性を判断します。 <u>面接</u> 本学部を志望する理由や高校時代に力を入れた活動等に関する質問への回答を基に、本学部での勉学への適性を判断します。

■文学部

対象学科 ／ 哲学科、史学科、英語英米文化学科、ドイツ語圏文化学科、
フランス語圏文化学科、教育学科

「学力検査等の内容」

哲 学 科	小論文（90 分）、面接
史 学 科	小論文 1 （30 分）・小論文 2 （60 分）、面接
英語英米文化学科	小論文※ 1 （90 分）、面接
ドイツ語圏文化学科	小論文（90 分）、面接
フランス語圏文化学科	小論文（120 分）、面接
教 育 学 科	小論文（60 分）、集団面接※ 2 （80 分）、個人面接

※ 1 課題の英語の文章を読んで、日本語にて小論文を書く。

※ 2 グループディスカッションとプレゼンテーションを含む。

「合否判定の方法及び基準」

哲 学 科	調査書、推薦書、志願理由書、小論文、面接により総合的に判定します。
史 学 科	
英語英米文化学科	
ドイツ語圏文化学科	
フランス語圏文化学科	
教 育 学 科	

■理学部

対象学科 ／ 物理学科、化学科、数学科、生命科学科

「学力検査等の内容」

第 1 次選考	物 理 学 科	書類選考
	化 学 科	
	数 学 科	
	生 命 科 学 科	
最 終 選 考	物 理 学 科	筆記試験／物理・数学（120 分）、面接（物理学科教員による）
	化 学 科	筆記試験／化学（60 分）、面接（化学科教員による）
	数 学 科	筆記試験／数学（90 分）、面接（数学科教員による）
	生 命 科 学 科	筆記試験／理科（60 分）、面接（生命科学科教員による）

「合否判定の方法及び基準」

第1次選考	物 理 学 科	調査書、推薦書、志願理由書により総合的に判断し合否判定を行います。
	化 学 科	
	数 学 科	
	生 命 学 科	
最 終 選 考	物 理 学 科	筆記試験、面接により、総合的に判断し合否判定を行います。
	化 学 科	
	数 学 科	
	生 命 学 科	

■国際社会科学部

対象学科 / 国際社会科学科

「学力検査等の内容」

第1次選考	書類選考
最 終 選 考	筆記試験／英語※1（90 分）、口頭試問（1 人 10 分～15 分）

※1 出題は英語、解答は英語又は日本語

「合否判定の方法及び基準」

第1次選考	調査書（ 留学等している場合は成績証明書 ）、推薦書、外部の英語資格・検定試験の成績証明書、志望理由書、大学4年間の計画表により総合的に判断し合否判定を行います。
最 終 選 考	第1次選考（書類選考）の結果及び筆記試験と口頭試問により、総合的に判断し合否判定を行います。

■国際文化交流学部

対象学科 / 日本文化学科、国際コミュニケーション学科

「学力検査等の内容」

小論文（日本語）、口頭試問（日本語）

「合否判定の方法及び基準」

小論文を課し、口頭試問を行い、それらの結果と高等学校の成績等を総合的に判断して合否を決定します。
--